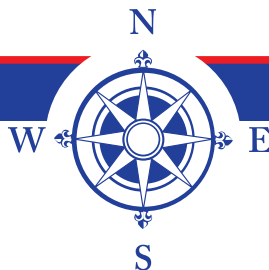


KANDAI

■関大ニュース



NEWS

ビジネスデータサイエンス学部と クロス・マーケティンググループが連携協定を締結

7月、ビジネスデータサイエンス学部と株式会社クロス・マーケティンググループは、「データ活用教育および次世代人材の育成に関する連携協定」を締結した。

これに基づき、本学部は2027年秋学期よりマーケティングリサーチの知見を生かしたPBL (Project Based Learning、問題解決型学習) 演習科目を導入。同社のリサーチ実務担当者が講師として参画し、国内最大級・1,600万人以上のパネル基盤を用いた実践形式を通じて、「データに基づく意思決定力」と「生活者理解の視点」を兼ね備えた人材の育成を目指す。

イノベーション創生センター 10周年記念シンポジウムを開催



トークセッションの様子

9月26日、イノベーション創生センター(KUCIC:Kansai University Center for Innovation & Creativity)の創設10周年を記念したシンポジウム「10年の挑戦を、次の革新へ〜Beyond Innovation〜」を開催した。

2016年の開設以来、本センターは産学官連携・大学発スタートアップ支援の先進拠点として研究成果を社会実装へとつなぐハブの役割を担ってきた。この10年で、大学発スタートアップを創出する環境は、個々の大学の取組みから、大学や金融機関、企業、自治体、国の支援機関などが連携する「エコシステム」へと進化。当日は、その歩みを振り返りつつ、次の10年に向けた新産業創出における大学の価値や役割について、活発な議論が交わされた。



参加者の交流会

池上彰客員教授講演会を開催



池上氏は、アメリカの政治動向や中東情勢などが日本経済や生活に直結していると述べ、アメリカ社会の格差や雇用、薬物問題、宗教的価値観がもたらす分断や対立の背景を解説。更に、歴史の知識を手掛かりに多角的な視点で情報を比較する重要性を語り、「大学では、学んだ知識を結び付けて分析し、運用する力を養ってほしい」とメッセージを送った。

6月25日、本学客員教授でフリージャーナリストの池上彰氏による特別講演「国際情報を理解するために」を千里山キャンパスで開催し、多くの学生や職員が聴講した。

体育会サッカー部の高橋哲也さんが川崎フロンターレに、 真田蓮司さんが北海道コンサドーレ札幌に入団内定

2026/27シーズンから体育会サッカー部の高橋哲也さん(文学部4年次生)が川崎フロンターレに、真田蓮司さん(法学部4年次生)が北海道コンサドーレ札幌へ加入することが内定した。



▲高橋さん

(写真提供:関大スポーツ編集局)



▲真田さん

高橋さんのポジションはセンターバック。守備の要として、驚異的なスピードを生かしたカバーリングと圧倒的な空中戦の強さが持ち味。

真田さんのポジションはミッドフィルダー。豊富な運動量と優れたアジリティを武器に攻守へ広く顔を出し、複数のポジションを高いレベルでこなす。

体育会陸上競技部のアブラハム光オシナチさんが、 U20世界陸上競技選手権大会で4位入賞



日本時間8月10日、米国・オレゴンで開催された「第21回U20世界陸上競技選手権大会」最終日、男子4×100mリレー決勝に日本代表のアブラハム光オシナチさん(人間健康学部2年次生)が第2走として出場。日本はシーズンベストの39秒41をマークし、3位のジャマイカとわずか0.4秒差の4位入賞を果たした。

日本時間8月10日、米国・オレゴンで開催された「第21回U20世界陸上競技選手権大会」最終日、男子4×100mリレー決勝に日本代表のアブラハム光オシナチさん(人間健康学部2年次生)が第2走として出場。日本はシーズンベストの39秒41をマークし、3位のジャマイカとわずか0.4秒差の4位入賞を果たした。

体育会テニス部の高山揺さん・中島莉良さんペア、 全日本学生室内テニス選手権女子ダブルスで初優勝！

8月22日、東京・有明テニスの森公園で行われた2026全日本学生室内テニス選手権の女子ダブルス決勝で、高山揺さん(商学部3年次生)・中島莉良さん(人間健康学部2年次生)ペアが亜細亜大学と対戦した。苦しい序盤を乗り越え、後半では抜群の勝負強さとコンビネーションを発揮。フルセットの末に逆転勝利を収め、関西大学女子ダブルス勢として悲願の初優勝を果たし、全国制覇を達成した。



▲ダブルスで優勝した高山さん(右)と中島さん(左)
(写真提供:永富慎也)

KANSAI UNIVERSITY SOCIAL MEDIA

